

A L S 患者の 1 日の吸引回数 of 年次推移の例

人工呼吸器装着 13 年の男性。

9 年間の療養生活の中で、吸引回数が最大 28.6 回から 10.0 回に減少している。

吸引回数に関係が認められた要因

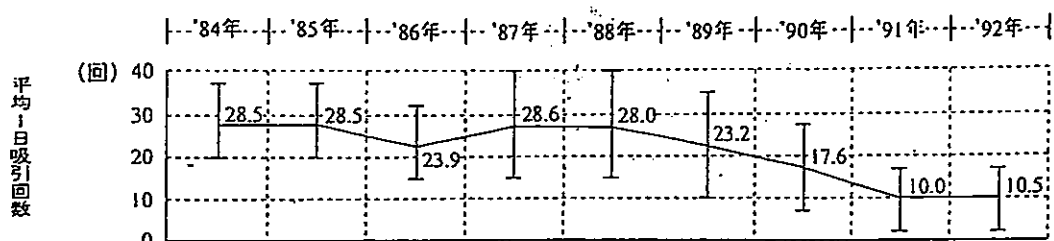
一時的に吸引回数を増加させた要因

- ① 看護ケア（清拭、洗髪、手浴・足浴、理学的訓練）
看護ケアによって貯留している痰がケア直後、短時間に噴き出し、結果的に 1 日の吸引回数減少。
- ② 気管カニューレの交換

吸引回数を減少させた要因

- ① 呼吸器回路の処理方法
- ② 吸引器の性能

計画的に看護ケアや気管カニューレの交換を行い、気道浄化を効果的にすることや、適切な環境を整備することにより、夜間の吸引回数が減少する。したがって、夜間の本人及び家族の睡眠の中断が減少すると考えられる。



1 日吸引回数の年次推移 (図一部抜粋)